

2026年度

地域基礎科目の履修について

新カリキュラム・2019年度以降入学学生用

地域基礎科目は、必修単位数が6単位であり、3コマの履修が必要であることは全員共通ですが、所属する「地域」と専攻する「専攻言語」により、履修方法が異なります。指定された履修方法によって修得した地域基礎科目6単位が進級要件です。下記12の「地域」の中から該当する「地域」の説明文を読み、地域基礎科目を履修登録してください。なお、履修指導文にある指定授業のうち、時間割によっては2026年度に履修登録できない場合もあります。その場合は、2027年度に履修するようにしてください。

1. 北西ヨーロッパ／北アメリカ

言語文化学部の学生：

「北西ヨーロッパ」で開講される3コマ・6単位（注）、および「北アメリカ」で開講される4コマ・8単位のうち、任意の3コマ・6単位を選択して履修する。

国際社会学部の学生：

- ・「北西ヨーロッパ」を専攻地域とする学生は、「北西ヨーロッパ」で開講される3コマ・6単位（注）のうち、2コマ・4単位を選択して履修する。残り1コマ・2単位は、「北西ヨーロッパ」、「北アメリカ」、「オセアニア」から選択して履修する。
- ・「北アメリカ」を専攻地域とする学生は、「北アメリカ」で開講される4コマ・8単位のうち、2コマ・4単位を選択して履修する。残り1コマ・2単位は、「北西ヨーロッパ」、「北アメリカ」、「オセアニア」、「ラテンアメリカ」の授業の中から選択して履修する。

（注）2024年度以降は、「北西ヨーロッパ」で開講される地域基礎は、「北西ヨーロッパ地域基礎1」と「北西ヨーロッパ地域基礎2」の2コマ・4単位になります。「北西ヨーロッパ地域基礎3」の開講予定はありません。2023年度以前に取得した「北西ヨーロッパ地域基礎3」の単位は引き続き有効です。

2. 中央ヨーロッパ

・専攻言語（ドイツ語）の学生は、「中央ヨーロッパ」で開講され、ドイツ語教員が担当する5コマ・10単位のうち、2コマ・4単位を選択履修する。残り1コマ・2単位については、「中央ヨーロッパ」で開講され、ドイツ語教員、ポーランド語教員、チェコ語教員が担当する地域基礎科目から選択履修する。なお、秋学期開講の中央ヨーロッパ地域基礎7（ドイツ語）は、少人数でのゼミ形式の授業（2年生対象）である（ただし2026年度は閉講）。

・専攻言語（ポーランド語）の学生は、「中央ヨーロッパ」で開講され、ポーランド語教員が担当する地域基礎科目（1コマ・2単位）を履修する。残り2コマ・4単位については、「中央ヨーロッパ」で開講され、ドイツ語教員、チェコ語教員が担当する地域基礎科目、または「ロシア」で開講される受講指定PLの付されたものから選択履修する。

・専攻言語（チェコ語）の学生は、「中央ヨーロッパ」で開講され、チェコ語教員が担当する地域基礎科目（1コマ・2単位、春学期）を履修する。残りの2コマ・4単位については、「中央ヨーロッパ」で開講され、ドイツ語教員、ポーランド語教員が担当する地域基礎科目、または「ロシア」で開講される受講指定Czの付されたものから選択履修する。

3. 西南ヨーロッパ

・専攻言語（フランス語）の学生は、「西南ヨーロッパ」で受講指定FおよびF, lの付された4コマ・8単位のうちから3コマ・6単位を選択して履修する。

・専攻言語（イタリア語）の学生は、「西南ヨーロッパ」で受講指定lの付された4コマ・8単位のうち、lのみの付された2コマ・4単位、および、F, lの付された2コマから1コマ・2単位を選択して、履修する。

4. ロシア

・「ロシア」で開講される3コマ・6単位をすべて履修する。

5. イベリア・ラテンアメリカ

言語文化学部の学生：

・専攻言語（スペイン語）または専攻言語（ポルトガル語）の学生は、「イベリア」で受講指定S・Poの付された1コマ・2単位と、「ラテンアメリカ」で受講指定S・Poの付された1コマ・2単位を履修し、残り1コマ・2単位は、「イベリア」または「ラテンアメリカ」で受講指定S・Poの付された授業から選択して履修する。

国際社会学部の学生：

・「ラテンアメリカ」を専攻地域とする学生は、「ラテンアメリカ」で開講される4コマ・8単位のうち2コマ・4単位を選択して履修する。残り1コマ・2単位は、「イベリア」、「ラテンアメリカ」で受講指定S、Poの付された授業の中から選択して履修する。

・「イベリア」を専攻地域とする学生は、「イベリア」で開講される3コマ・6単位のうち2コマ・4単位を選択して履修する。残り1コマ・2単位は、「イベリア」、「ラテンアメリカ」で受講指定S、Poの付された授業の中から選択して履修する。

6. 東アジア

・「東アジア地域基礎1～6」から3コマ・6単位を選択履修すること。

*専攻言語（朝鮮語）の学生は、必ず「東アジア地域基礎4」（藤井豪先生の授業／1コマ・2単位）を選択履修するコマに含めること。

・選択に際しては、各自の専攻言語に対応する地域の授業を推奨する。

中国地域：「東アジア地域基礎1」、「東アジア地域基礎2」、「東アジア地域基礎6(澤田先生)」

朝鮮地域：「東アジア地域基礎3」、「東アジア地域基礎4」*、「東アジア地域基礎5」、「東アジア地域基礎6（鄭栄桓先生）」

7. 東南アジア

・専攻言語（インドネシア語・マレーシア語・フィリピン語・タイ語・ラオス語・ベトナム語・カンボジア語・ビルマ語）の1年生は、必ず、春学期・水曜日1時限目に開講される「東南アジア地域基礎1」（東南アジア研究入門：2単位）を履修すること。さらに、専攻言語に対応して開講されている「東南アジア地域基礎2～17」を春学期1コマ・2単位および秋学期1コマ・2単位、合計2コマ・4単位を履修すること。専攻言語（インドネシア語・マレーシア語・フィリピン語・タイ語・ラオス語・ベトナム語・カンボジア語・ビルマ語）の1年生は、上記の東南アジア地域基礎科目6単位を1年次に履修することが推奨される。

8. 南アジア

・進級要件6単位のうち、専攻言語としてウルドゥー語(U)、ヒンディー語(H)、ならびにベンガル語(Bn)を専攻する学生は、全員各自が所属する専攻言語が開講する「南アジア地域基礎1」および「南アジア地域基礎2」の2科目4単位が必修科目となる。これらを1年生春学期・秋学期にそれぞれ履修すること。

・選択必修科目である残りの1科目2単位は、2年次に所属する専攻言語以外が開講する「南アジア地域基礎」科目の中から選択して履修すること。

・進級要件として必要な6単位を超えて、2年生以降に所属する専攻言語以外が開講する「南アジア地域基礎」科目を履修することも推奨する。（卒業要件に必要な単位に加えることができる。）

9. 中東

・「中東」で開講される3コマ・6単位をすべて履修する。

10. 中央アジア

・専攻言語（モンゴル語）の学生は、「中央アジア」で開講される授業のうち受講指定Mの付された3コマ・6単位（中央アジア地域基礎1、2、3）を履修する。

・専攻言語（ロシア語及びウズベク語）の学生は、「中央アジア」で開講される「中央アジア地域基礎4、5」（受講指定R（中央アジア）の付されたもの）2コマ・4単位を履修し、残り1コマ・2単位

は、「ロシア」地域で開講される「ロシア地域基礎1」（受講指定R（中央アジア）の付されたもの）
1コマ・2単位を履修する。

11. オセアニア

・「オセアニア」で開講されている地域基礎3コマ・6単位をすべて履修する。

12. アフリカ

・「アフリカ」で開講する地域基礎3コマ・6単位をすべて履修する。